

2021年2月12日

各位

東京都千代田区平河町二丁目5番3号
株式会社ガイアックス
代表執行役社長 上田 祐司
(コード番号: 3775 名証セントレックス)
(連絡先) 執行役管理本部長 野澤 直人
TEL 03-5759-0300

2020年12月期通期連結・個別業績見込みと前期実績値との差異並びに
有価証券評価損(売上原価)の計上に関するお知らせ

2020年12月期の通期連結・個別業績見込みが、前連結・個別会計年度の実績値と比較して、差異が生じる見込みとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。また、2020年12月期連結決算及び個別決算において、有価証券評価損を計上しておりますので併せてお知らせいたします。

なお、当社は2020年12月期の業績予想は公表しておりません。

記

1. 2020年12月期通期連結業績見込み(2020年1月1日~2020年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	2,015	△303	△293	△292	円 銭 △59.61
当期見込み(B)	2,445	173	153	154	31.55
増減額(B-A)	430	476	446	447	—
増減率(%)	21.4%	—	—	—	—

2. 2020年12月期個別業績見込み(2020年1月1日~2020年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A)	1,775	△332	201	204	円 銭 41.59
当期見込み(B)	2,169	229	179	154	31.37
増減額(B-A)	394	562	△22	△50	—
増減率(%)	22.2%	—	△11.1%	△24.6%	—

3. 差異の理由

(1) 連結業績

インキュベーション事業において、当社の投資先であるアディッシュ株式会社の上場したことにより、当社が保有しているアディッシュ株式の一部を売却いたしました。これにより売上高が大幅に増加いたしました。

また、利益につきましては、下記4に記載のとおり売上原価に有価証券評価損を計上、また外注費が前期より増加いたしましたが、アディッシュ株式の売却益により前期実績を上回る結果となりました。

これらの理由により前期実績との差異が生じる見込みであります。

(2) 個別業績

当事業年度の売上高につきましては、上記(1)連結業績のとおり、アディッシュ株式の売却により、前期実績を上回る結果となりました。経常利益及び当期純利益につきましては、アディッシュ株式の売却益があるものの、前期においては海外子会社からの配当収入があったため、前期実績を下回る結果となりました。

これらにより前期実績との差異が生じる見込みであります。

4. 有価証券評価損の計上について

インキュベーション事業で保有している有価証券のうち実質価額が下落し、回復する可能性が低いと想定されるものについて保守的に評価し、連結及び個別決算において11銘柄に係る80百万円の有価証券評価損を売上原価に計上しております。

以上